

第六次愛媛県長期計画「愛媛の未来づくりプラン」 第3期アクションプログラム中間評価【事務局素案】

資料2

(進捗状況の考え方)

- ☆→目標達成
- ◎→きわめて良好
- [◎の判定方法；基準値がH30年度、最新の現状値がR2年度、目標値：R4年度の場合]
◎：基準値 + (目標値 - 基準値) / 4年間×2年目 ≤ R2実績値
- 基準値より上昇
- △→基準値横ばい
- ▲→基準値より悪化
- 判定不可（新型コロナウイルスの影響による中止等で実績のなかったもの等）

全指標の進捗状況の内訳（再掲除く）

☆：41 ◎：37 ○：46 △：11 ▲：63 -：13
合計：211

最優先課題 豪雨災害からの創造的復興

復旧・復興指標の
進捗状況

☆：3 ◎：3 ○：4 △：1 ▲：1 -：0 合計：12

【完了した取組み R3.6末時点】 ※完了時期がR元年度以降のもの

●人を守る

- ・こころのケアチームやこころの保健室による支援
- ・教育活動支援員の配置による学習サポート、奨学金の貸付

●生活を守る

- ・県立学校施設（18校）、交通安全施設、JR等の復旧
- ・災害廃棄物の処理完了（R2.5）、水道施設の復旧（4市）
- ・被災者に対する住宅支援（応急修理2,084件、公費解体）等

●産業を守る

- ・グループ補助金を事業を完了した522事業者に約64億円を交付
- ・かんきつ園地の改良復旧（高浜地区）
- ・水産施設・漁港施設の復旧、農業用施設等の修繕・再整備支援
- ・災害関連対策資金の融資（368件、約46億円）
- ・被災地域販路開拓への支援（517事業者）等

【今後の取組み】

●人を守る

- ・地域支え合いセンター・保健師等による見守り・相談支援
- ・スクールカウンセラーの派遣
- ・肱川の堤防整備（～R5）、砂防施設の整備、河川・砂防施設の復旧 等

●生活を守る

- ・被災者生活再建支援法による支援金の支給、義援金の配分
- ・応急仮設住宅（建設型・賃貸型）・公営住宅等による支援
- ・水道施設の復旧（西予市下川（ひとつがわ）地区R4年度未完了予定）等

●産業を守る

- ・かんきつ園地の再編復旧（玉津、由良、上浦、立間地区）
- ・かんきつ産地の営農継続等の支援（営農基盤の再構築、産地力の底上げを図る取組みを推進）
- ・林道の復旧 等

●復旧・復興指標達成に向けた取組みについて

人を守る

○指標名 ☆:2 ◎:1 ○:0 △:1 ▲:0 -:0

肱川緊急治水対策による浸水被害解消戸数/
緊急土砂災害対策による保全人家戸数/
土砂災害警戒区域の指定数/応急仮設住宅候補地の確保

○今後の取組み

- ・積極的な予算確保や、建設発生土の工事間流用の拡充も含めた築堤材料の計画的な確保（肱川緊急治水対策による浸水被害解消戸数）
- ・住民が自由な時間に説明会場に会場し自由に相談できる「オープンハウス方式」の導入や開催地区単位の拡大などを行い、指定を促進（土砂災害警戒区域の指定数） など

生活を守る

○指標名 ☆:1 ◎:0 ○:3 △:0 ▲:0 -:0

豪雨災害で被災した水道施設の復旧率/
被災した県が管理する国道・県道及び市町道の災害復旧
工事の完成箇所/災害ボランティア研修会参加者数/
市町災害廃棄物に係る団体等との災害協定締結件数

○今後の取組み

- ・工事が未完了の西予市（下川（ひとつがわ）地区）に対し、他事業（林道災害復旧工事）との調整を速やかに行えるようアドバイス（豪雨災害で被災した水道施設の復旧率）
- ・R2年度に策定した市町工事の進捗を図る計画を推進し、被災道路のR3年度工事完成を目指す（被災した県が管理する国道・県道及び市町道の災害復旧工事の完成箇所） など 1

● 復旧・復興指標達成に向けた取組みについて

産業を守る

○指標名 ☆:0 ◎:2 ○:1 △:0 ▲:1 -:0
 樹園地の再編復旧に事業着手した地区数/
 樹園地の災害復旧事業による原形及び改良復旧面積/
 グループ補助金認定59グループ (R2.3現在) による
 共同事業実施件数/南予地域の観光客数

○今後の取組み

- ・残る1地区(立間地区)も地元の合意形成を積極的に後押し(樹園地の再編復旧に事業着手した地区数)
- ・市町と連携して、通常工事と発注時期を調整し、復旧工事を優先実施できる体制をつくる(樹園地の災害復旧事業による原形及び改良復旧面積)
- ・「えひめ南予きずな博」の開催(南予地域の観光客数) など

1 次代を担う活力ある産業を“創る” 産業16施策

成果指標の
進捗状況

☆:10 ◎:13 ○:14 △:4 ▲:26 -:1 合計:68

【これまでの取組み】

国内外への積極的な営業展開や愛媛産品のブランド化の推進、デジタルマーケティングを活用したプロモーション等に取り組み、市場開拓を進めた。

また、コロナ禍での県内企業の事業継続や雇用維持への支援のほか、新たなビジネスモデルへの転換や農林水産業の担い手確保を後押しし、地域経済の立て直しに取り組んだ。

さらに、デジタル化の促進等ウィズコロナに対応した観光客の受入態勢の整備を始めとした観光需要の喚起に取り組み、観光業界の活動を下支えした。

【今後の取組み】

感染対策を織り込んだ事業活動の基盤強化とウィズコロナ時代に対応する新たな事業展開の支援、中小企業の人材確保や就職支援のほか、デジタル技術を活用した営業活動やサテライトオフィスの誘致など、経済活動の継続・活性化に取り組む。

また、コロナ収束後の観光需要拡大を見据えた受入態勢の整備など、感染状況を見極めながら交流人口の拡大を図る。

さらに、収益性の高い産地づくりやきめ細かな担い手対策などにより、オール愛媛体制での農林水産業の振興に取り組む。

【重点施策の主な取組み・成果】 ▼…新型コロナ対応

施策3 新産業の創出と産業構造の強化

- ・地域課題を地域資源で解決するビジネスプランの募集、創業支援(創業件数R2累計46件)
- ・5Gオープン実験室の整備(R2)やAI等のデジタル技術導入支援
- ▼バーチャル展示会の開催によるものづくり企業の商談機会の創出(県内企業20社参加し、延べ197社と個別商談)等

施策4 若年者の就職支援と産業人材力の強化

- ・ジョブカフェ愛workを核とした若年者の就職支援、県内就職促進(R元→R2で県内就職率上昇)
- ・地域や産業界(農業、工業等)と連携した体験研修等の実施
- ▼労働需要の不均衡解消に向けた企業間の出向契約のマッチング支援等

施策6 力強い農林水産業を支える担い手の確保

- ・JA等関係機関と連携した新規就業者の所得確保や定着促進
- ・「県1漁協」の経営基盤強化と業務効率化を支援
- ▼産地の取組支援によるみかんアルバイトの確保等

施策9 愛媛産品のブランド力向上

- ・本県オリジナル良食味米「ひめの凧」の販売開始、ブランド確立推進
- ▼県産牛肉・農林水産物の学校給食への食材提供支援等

施策10 営業力の強化と市場拡大

- ・県関与年間成約額目標額150億円を達成(R元205.2億円、R2174.4億円)
- ・愛媛県産品ポータルサイト「愛媛百貨選」の開設・活用による販路拡大
- ▼新しい生活様式に対応した農産物販売促進イベントの新しいモデルを示し県内へ波及等

施策12 魅力ある観光地づくりと国際観光の振興

- ・東予東部地域初の広域振興イベント「えひめさんさん物語」を開催(R元)
- ・大型クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」が松山港初寄港(R元.5)
- ・松山-台北線の定期便が就航(R元.7)
- ▼県民・県外観光客向けの宿泊旅行代金割引支援等

施策14 自転車新文化の拡大・深化

- ・E-BIKE(スポーツ型電動アシスト付自転車)の普及促進、通勤の促進
- ・ナショナルサイクルルートに指定された「しまなみ海道サイクリングロード」の整備
- ▼「コロナ禍での5つのサイクリングマナー」の普及啓発等

施策15 広域・高速交通ネットワークの整備

- ・松山空港の駐機スポット増設が決定、新幹線導入に向けた機運醸成
- ・三島川之江港に新たにガントリークレーンを整備
- ▼空港、港での水際対策、航空会社の利用回復プロモーションへの支援等2

2 快適で安全・安心の暮らしを“紡ぐ” 暮らし20施策

成果指標の
進捗状況

☆:17 ◎:18 ○:20 △:4 ▲:15 -:3 合計:77

【これまでの取り組み】

関係人口づくりや移住者への総合的な支援等による人口減少対策、コロナ禍での感染事例ごとの囲い込みと封じ込めの徹底や検査体制の強化等によるオール愛媛での感染防止対策に取り組んだ。

また、デジタル技術を活用した県施策の高度化に取り組むとともに、豪雨災害や新型コロナを踏まえた防災・減災対策の強化に取り組んだ。

【重点施策の主な取り組み・成果】 ▼…新型コロナ対応

施策20 地域を支える人材づくり

・求人・移住総合情報サイト「あのこの愛媛」の運営やデジタルマーケティングを活用した新たな移住希望者の開拓等により、R元年度比28.9%の移住者増

▼テレワーカー誘致のための受入環境整備 等

施策22 高齢者がいきいきと暮らせる健康長寿えひめの実現

・R5年度に本県で開催する「ねんりんピック」の開催準備

▼感染症対策及び介護施設の職員負担軽減のためのICT機器等の導入支援 等

施策26 安全・安心で質の高い医療提供体制の充実

・退職(退官)する医師を主なターゲットに医師不足地域の医療機関とマッチング

・5G高精細映像を使った遠隔医療モデル事業の実施

▼感染者の状態に応じた受入病床や宿泊療養施設の確保 等

【今後の取り組み】

アフターコロナを見据え戦略的に移住施策を展開するほか、県政の幅広い分野で、愛媛ならではのデジタル変革の早期具体化に取り組む。

また、引き続き、県民の健康と命を守るため、新型コロナの感染拡大防止や医療提供体制を確保などに取り組むほか、デジタル技術を活用した災害時の避難対策の充実強化やハード・ソフト両面での防災・減災対策の強化に取り組む。

施策27 救急医療体制の充実

・ドクターヘリの安定運航、ランデブーポイントの拡充 等

施策34 原子力発電所の安全・防災対策の強化

・原子力防災訓練、ブラインドによる図上訓練の実施

・ドローンを活用した情報収集など原子力災害時の対応力強化 等

施策35 防災・危機管理体制の強化

・県下全域でシェイクアウト訓練を実施 (R2参加登録者 371,722人)

・防災士の養成(R元~企業・団体等に対象拡大)、自主防災組織活動の活性化支援

▼避難所における感染症対策等を定めた対策ガイドラインの作成 等

施策36 災害から県民を守る基盤の整備

・肱川水系治水対策の目標を10年前倒しし、集中的に実施

・警察署の耐震化を推進、ため池の改修・耐震対策実施

・緊急輸送道路の防災対策、河川、港湾、海岸、砂防施設等の改修・補強 等

3 未来を拓く豊かで多様な「人財」を“育む” 人づくり10施策

成果指標の
進捗状況

☆:5 ◎:4 ○:7 △:1 ▲:16 -:11 合計:44

【これまでの取り組み】

R元年度に創設した「子どもの愛顔応援ファンド」の有効活用やえひめ結婚支援センターでの支援等を通じ、結婚・妊娠・出産・子育ての総合的な支援に取り組んだ。

また、エアコン・電子黒板の設置など安全・安心や学力向上に資する教育環境の整備、愛媛国際映画祭の開催による個性豊かな文化の創造のほか、東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ振興に取り組んだ。

【重点施策の主な取り組み・成果】 ▼…新型コロナ対応

施策37 安心して生み育てることができる環境づくり

・子どもの愛顔応援ファンドの創設 (R元)、活用による子育て支援

・えひめ結婚支援センターにおいて、累計1,275組の成婚報告

▼検査を希望する妊産婦に対する分娩前PCR検査の実施 等

施策40 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てる教育の推進

・県立学校普通教室及び特別教室に学習系Wi-Fiと電子黒板を整備

・全公立中学校、県立中等教育学校での5日間の職場体験学習の実施

▼学習支援等を行う支援員の配置 等

【今後の取り組み】

引き続き、結婚から出産、子育てまでの一貫したオール愛媛体制での切れ目ない支援を推進するとともに、学校での一人一台端末が実現する機会を捉えたICT教育の推進により、児童生徒の学力向上と教員の負担軽減を図る。

また、コロナ禍を踏まえ、デジタル技術を活用した文化の振興やスポーツ振興に取り組む。

施策46 競技スポーツの振興

・国体の成果を継承した競技力向上対策 (ジュニアアスリートの発掘・育成、指導者の資質向上など)

・四国ブロックで初開催となるR4年度インターハイに向けた準備

▼開催中止となった高校総体や高校野球大会等の代替大会の運営支援 等

【これまでの取り組み】

産業、業務、家庭、運輸部門での温室効果ガス排出抑制の取り組みを推進するとともに、家庭や企業における再生可能エネルギーの導入支援等を通じた地球温暖化対策に取り組んだ。また、プラスチックごみや食品ロスの削減を推進したほか、エコツーリズムの推進等を通じて地域の活性化と環境保全の両立に取り組んだ。

さらに、県産材の販路拡大等を通じて木材利用を推進するとともに、新たな森林管理システムの円滑な運用を図り、森林の適正な管理に取り組んだ。

【今後の取り組み】

2050年の脱炭素社会実現に向けて、緩和策と適応策を両輪に地球温暖化対策を総合的に推進するとともに、プラスチックごみの効果的な削減対策や食品ロス削減の県民総参加による運動を加速化するほか、エコツーリズム等による自然公園の魅力創生と利用促進に取り組む。

また、県産材の需要拡大を図るとともに、森林・林業に対するイメージアップや理解促進等を通じ、適正な森林の管理と森林資源の有効活用に取り組むほか、再生可能エネルギー等の利用を促進する。

【重点施策の主な取り組み・成果】

施策48 地球温暖化対策の推進

- ・ 県気候変動適応センターを設置（R2.4）、気候変動による影響把握・分析、普及啓発を通じて「適応策」を推進
- ・ 家庭や事業所での省エネやエコ通勤の普及促進を図り、「緩和策」を推進 等

施策49 環境への負荷が少ない循環型社会の構築

- ・ リサイクル製品や3R、地産地消等に積極的に取り組んでいる事業所を支援
- ・ 「えひめプラスチック資源循環戦略」策定（R2.3）
- ・ 食品ロス実態調査の実施、「愛媛県食品ロス削減推進計画」策定（R3.3）

推進姿勢

アクションプログラムの施策を進める際の県の基本的な姿勢を「挑戦」「連携」「創造」の3つの視点で示したものです。

○挑戦

- (1) 地方分権改革の実現に向けた挑戦
- (2) 機能的な組織・業務体制の構築や効率的かつ効果的な行政運営に向けた挑戦
- (3) 財政の健全化に向けた更なる挑戦

○連携

- (1) 「チーム愛媛」の推進による基礎自治体との連携
- (2) 多様な主体との協働・連携
- (3) 広域的な視点による他地域との連携

○創造

- (1) 独自性の高い“愛媛発”の新たな政策の創造
- (2) 新たな戦略の創造

【主な取り組み】

- ・ 新しい行政改革大綱（第3ステージ）の策定（R元. 8）、財政健全化基本方針（第3ステージ）の策定（R元. 8）
- ・ 県・市町連携「チーム愛媛」の推進（大規模災害時における応援・受援体制の整備、愛媛県・市町DX協働宣言など）
- ・ 全国の市町村に参加を呼びかけ、「行革甲子園2020」開催（R2.11）
- ・ 県と市町との人事交流（20市町すべてと交流）
- ・ 愛媛県デジタル総合戦略を策定（R3.3）するとともに、官民共創デジタルプラットフォーム「エールラボえひめ」を構築
- ・ 県庁総務系事務改革として、総務系事務の一部を総務事務オフィスに集約化・外部委託（R元.11～）
- ・ 新しい働き方チャレンジ宣言（R2.7）のもと、スマート県庁への転換を推進（スマートオフィスのモデル的整備、Web会議環境の増強、ペーパーレス化の推進）
- ・ ICT技術を活用した業務効率化（県民向けAI総合案内サービス(R2.10～)、ソフトウェアロボットの活用により一部の業務を自動化など）
- ・ えひめ発の地方創生実現に向けた提言とりまとめ、公表（R元.7、R2.6）

●第2期「愛媛県版まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

基本目標	①地域に働く場所をつくる・人を呼び込む	②出会いの場をつくる・安心して子どもを産み育てる	③元気で持続可能な地域をつくる・いつまでも地域で暮らせる
数値目標	社会減の縮小	若い世代の就労・結婚・子育ての希望が実現することによる合計特殊出生率の段階的な上昇	SDGsの達成に向けた取組みを行っている県内市町の数
基準（平成30年）	4,063人の転出超過	1.55	0市町（30年度）
目標（令和4年）	1,500人以上の縮小	1.63程度	20市町（4年度）
中間評価（令和2年）	888人の縮小 （3,175人の転出超過）	1.45	20市町（2年度）

●ターゲット指標達成に向けた取組みについて

防災・減災	ターゲット指標の 進捗状況	☆:1 ◎:1 ○:3 △:1 ▲:0 -:0
<p>○指標名</p> <p>防災士の数/県防災メール及びひめシェルターの登録者数/ 海岸保全施設整備による防護面積/緊急輸送道路の防災対策の整備率/ 土砂災害防止施設により保全される人家戸数/ 社会資本の老朽化に起因する重大事故ゼロ</p>		
人口減少	ターゲット指標の 進捗状況	☆:0 ◎:0 ○:4 △:0 ▲:4 -:0
<p>○指標名</p> <p>5日間の職場体験学習に取り組んだ公立中学校（県立中等教育学校前期課程を含む）の生徒の活動に対する充実度/観光客数/観光消費額/ しまなみ海道（今治市）におけるレンタサイクル利用者数/ 愛媛マルゴト自転車道サイトの会員登録者数/ 松山空港の年間利用者数/県外からの移住者数/ えひめ結婚支援センターの成婚報告数</p>		

○今後の取組み

- ・防災士の役割の重要性や防災士養成講座の更なる周知のほか、受講者が安心して受講できるよう感染症対策を徹底（防災士の数）
- ・整備効果の高い海岸から優先的に事業を実施（海岸保全施設整備による防護面積）
- ・公共土木施設の長寿命化計画等に基づき、定期点検や維持管理を適切に実施（社会資本の老朽化に起因する重大事故ゼロ）
など

○今後の取組み

- ・アフターコロナを見据えた受入環境整備や誘客促進（しまなみ海道（今治市）におけるレンタサイクル利用者数）
- ・デジタル技術等を活用した若者世代の移住促進やテレワーカーの誘致強化、「えひめ南予さずな博」と連携した南予への移住者拡大（県外からの移住者数）
- ・オンライン婚活を主軸に展開するとともに、県内外の20代をターゲットとしたデジタルマーケティングを実施し、会員増加を図る（えひめ結婚支援センターの成婚報告数）
など

●ターゲット指標達成に向けた取組みについて

経済活性化

ターゲット指標の
進捗状況

☆:2 ◎:0 ○:1 △:1 ▲:5 -:0

○指標名

県農林水産研究所が開発した新品種・新技術数/「愛」あるブランド製品の年間販売額の伸び率（対前年度比）/県関与年間成約額/観光客数（再掲）/
観光消費額（再掲）/しまなみ海道（今治市）におけるレンタサイクル利用者数（再掲）/愛媛マルゴト自転車道サイトの会員登録者数（再掲）/高規格幹線道路等の整備率/松山空港の年間利用者数（再掲）/

○今後の取組み

- ・企業ニーズに即した積極的な企画提案のほか、商品開発から販路開拓を通じた一気通貫での支援やデジタル営業の強化（県関与年間成約額）
- ・アウトドア志向の高まりや新型コロナ収束後のインバウンド需要を見据え、アウトドアアクティビティを中心とした動画等での情報発信や宿泊事業者を対象とした受入態勢充実のためのセミナー開催等を通じて、回復を図る（観光客数/観光消費額）
など

その他の重要課題

ターゲット指標の
進捗状況

☆:1 ◎:3 ○:3 △:1 ▲:1 -:1

○指標名

要介護認定を受けていない人の割合/施設入所から地域へ生活の場を移した人数（率）/65歳未満で死亡する人の割合/医療施設従事医師数（人口10万人当たり）/
景観計画策定数/県立学校の教室へのエアコン設置率/県立学校の普通教室における電子黒板の整備率/国民体育大会における総合成績（天皇杯順位）/自然公園、四国のみちの利用者数

○今後の取組み

- ・ビッグデータ等の分析による地域特性に応じた健康課題解決への取組みのほか、各自の健康状態が見える化できるアプリの利用促進等により、県民の健康寿命の向上を図る（65歳未満で死亡する人の割合）
- ・生徒数及びクラス数の減少を踏まえ、設置が必要な教室の精査、設置計画の見直し（県立学校の教室へのエアコン設置率）
- ・R5年度までの整備計画をR4年度までに完了するよう前倒し実施（県立学校の普通教室における電子黒板の整備率）
など

「愛媛の未来づくり
プラン」推進懇話会
のご意見